

# 水球競技の見方

再入水エリア

ゴールの大きさは  
幅3m×高さ90cm

水球競技はイギリスで発祥したスポーツで、当時は馬を模した樽に乗ってボールを追ったところからウォーターポロと呼ばれています。水上(水中)という体の自由がききにくい状況の中で泳ぐことはもちろん、スタート、ストップ、ジャンプなどを行いながらボールを扱い、さらに球技としてのゲームセンスも要求される水球は、ヨーロッパでは陸のサッカーと並び人気ある競技です。米国西海岸では「キング・オブ・スポーツ」とまで言われています。

## ＜競技時間＞

競技時間は7分を4ピリオド行い、ピリオド間に2分間の休憩が入ります。交代選手は6人まで認められていて、いつでも交代できます。同点の場合は5分間休憩後3分間2ピリオドの延長戦を行い、それでも同点の場合は、両チーム5人ずつのペナルティーシュート合戦となり、勝敗が決定するまで行います。

## ＜オーディナリーファール＞

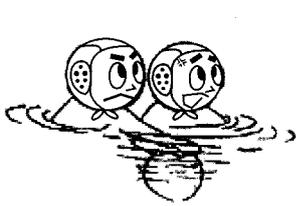
このファウルを犯すと相手チームのフリースローからはじまります。

### オフサイド

2メートルライン内ではボールを持っていないプレイヤーがボールの位置より前に入ると反則となります。

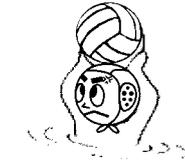
### オーバータイム

攻撃しているチームが30秒以上シュートしなかった時、反則となります。



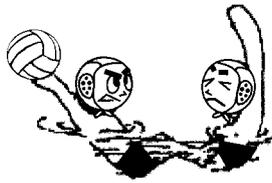
### アンダーウォーター

タックルされたときにボールを沈めると反則です。



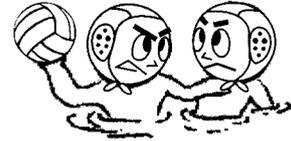
### ボースハンド

両手でボールに触ると反則です。



### プッシング

手や足を使って相手選手から押し離れると反則になります。



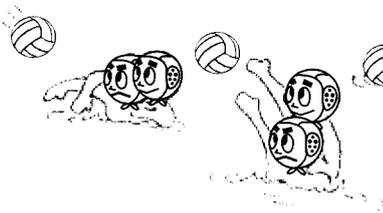
たて  
30m

水深  
2m  
以上

## ＜エクスクルージョンファール＞

このファウルを犯した選手は20秒間「退水」させられます。得点があった場合や味方チームがボールの所有権を獲得すると入水できます。

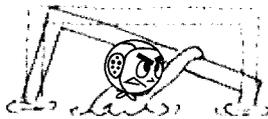
※ 相手がボールをもっていればそのボールに対してタックルすることはOKですが、ボールを保持しない相手を沈めたり、捕まえたり、引き戻したりすることは反則になります。



視野を遮るような水かけや、目を隠す行為は反則です。

## ＜ペナルティーファール＞

自陣5m以内において、その反則がなかったら明らかに得点チャンスがあったと思われるファールは、ペナルティーファールとなり、相手チームにペナルティスロー(5mライン上からゴールキーパーと1対1でシュートする)が与えられます。



ゴールポストをわざと沈めたり動かして得点チャンスを妨げたり、キーパーがゴール前で、アンダーウォーターをしてアタックを交わした場合にはペナルティーファールとなります。

## ＜永久退水＞

同じ選手が、試合中3回のエクスクルージョンファールかペナルティーファールを重ねると、その選手は「永久退水」になります。さらにレフリーに不服従であるとか、不行跡、暴力行為などがあつた場合も、「永久退水」となります。(この場合、交代者は、20秒後、暴力行為の場合は4分後に入水できます。)

## ＜タイムアウト＞

タイムアウトは1試合に3回(3回目は延長戦でのみ)認められており、攻撃時に1分間とることができます。このタイミングは、試合を大きく左右するポイントになっています。

再入水エリア

よこ20m